

平成29年度学校評価 職員自己評価集計

項目	No.	評価項目	5	4	3	2	1	合計	平均
学校運営	1	学校教育目標は適切で、具体的に図られているか。	3	15	8	0	0	26	3.81
			12%	58%	31%	0%	0%	100%	
	2	学校教育目標の具現化に向けて、教育実践に努めたか。	1	16	9	0	0	26	3.69
			4%	62%	35%	0%	0%	100%	
3	教育活動の運営に、教職員の意見が反映されていたか。	1	17	7	1		26	3.69	
		4%	65%	27%	4%	0%	100%		
4	教育活動の運営に、管理職や主任のリーダーシップが発揮されていたか。	3	19	3	1	0	26	3.92	
		12%	73%	12%	4%	0%	100%		
組織	5	公簿、表簿等は正しく処理されているか。	7	13	6	0	0	26	4.04
			27%	50%	23%	0%	0%	100%	
	6	個人情報の管理は、適切に行っているか。	8	12	5	1	0	26	4.04
			31%	46%	19%	4%	0%	100%	
	7	教育活動に必要な情報は、適切に教職員に周知されているか。	4	13	8	1	0	26	3.77
			15%	50%	31%	4%	0%	100%	
	8	校務分掌の分担が適正になされ、意欲的に取り組んだか。	2	14	8	2	0	26	3.62
			8%	54%	31%	8%	0%	100%	
	9	教職員の相互理解がなされ、教育活動に協力し合っ て取り組んだか。	3	15	6	2	0	26	3.73
			12%	58%	23%	8%	0%	100%	
10	日々の教育活動における問題や悩みを、気軽に話し 合えたか。	11	10	4	1	0	26	4.19	
		42%	38%	15%	4%	0%	100%		
学習指導	11	指導方法を工夫して、各教科の基礎・基本の習得を 図ることができたか。	0	16	8	1	0	25	3.60
			0%	64%	32%	4%	0%	100%	
	12	学習中の基本的な学習態度（話す・聞く態度、書く 姿勢等）を育成できたか。	1	15	8	1	0	25	3.64
			4%	60%	32%	4%	0%	100%	
	13	全教育活動を通して、道徳的心情を養うことができ たか。	1	8	15	1	0	25	3.36
			4%	32%	60%	4%	0%	100%	
14	体力の向上を考え、体育の授業をはじめ体育的活動 を充実することができたか。	2	11	12	0	0	25	3.60	
		8%	44%	48%	0%	0%	100%		
15	コンピュータや視覚覚機器を活用した授業を、積極 的に展開できたか。	1	5	13	6	0	25	3.04	
		4%	20%	52%	24%	0%	100%		
16	読書活動の充実が図れたか。	3	10	11	1	0	25	3.60	
		12%	40%	44%	4%	0%	100%		
生徒指導・特別支援	17	基本的な生活習慣（言葉遣い、廊下歩行等）が身に つけられるよう適切に指導することができたか。	2	8	15	1	0	26	3.42
			8%	31%	58%	4%	0%	100%	
	18	子ども達が自主的に挨拶ができるよう、継続的な指 導を行ってきたか。	3	9	14	0	0	26	3.58
			12%	35%	54%	0%	0%	100%	
	19	子ども達の話に耳を傾け、寄り添い、充実した教育 相談を行うことができたか。	1	11	14	0	0	26	3.50
4%			42%	54%	0%	0%	100%		
20	児童相互の好ましい人間関係が育つよう、児童間の 関係づくりに努めたか。	2	21	3	0	0	26	3.96	
		8%	81%	12%	0%	0%	100%		
21	特別な支援配慮が必要とする、児童への支援の手立 てを考えて指導に当たったか。	0	18	6	2	0	26	3.62	
		0%	69%	23%	8%	0%	100%		
研修	22	校内研究組織が機能して、計画的に研修が実施され たか。	2	14	9	0	0	25	3.72
			8%	56%	36%	0%	0%	100%	
23	校内や校外における研修で得たものが、自分の教育 実践に活かされたか。	0	19	6	0	0	25	3.76	
		0%	76%	24%	0%	0%	100%		
特別活動	24	学校行事の内容、時期等は適切であったか。	1	14	11	0	0	26	3.62
			4%	54%	42%	0%	0%	100%	
	25	学級活動は、年間計画に基づいて実施できたか。	0	10	15	0	0	25	3.40
			0%	40%	60%	0%	0%	100%	
26	児童会活動は、計画的かつ機能的に運営されたか。	0	9	16	1	0	26	3.31	
		0%	35%	62%	4%	0%	100%		
27	クラブ活動や委員会活動は、児童の自主的、自発的 な活動となるよう指導ができたか。	1	15	9	0	0	25	3.68	
		4%	60%	36%	0%	0%	100%		
保健・安全	28	学級の環境（掲示・整理整頓）が適切で、清掃活動 は行き届いていたか。	1	8	16	1	0	26	3.35
			4%	31%	62%	4%	0%	100%	
	29	児童の安全確保のための、手立ては適切に取られて きたか。	3	16	7	0	0	26	3.85
12%			62%	27%	0%	0%	100%		
30	健康面に配慮を要する児童に対して、適切に対処で きたか。	2	18	5	0	0	25	3.88	
		8%	72%	20%	0%	0%	100%		
保護者地域	31	授業参観・懇談会では、経営方針や学級の様子を適 切に伝え、信頼を深めることができたか。	2	13	9	1	0	25	3.64
			8%	52%	36%	4%	0%	100%	
	32	学校で起きた出来事について速やかに伝え、よりよ い対応に努めることができたか。	1	18	7	0	0	26	3.77
4%			69%	27%	0%	0%	100%		
33	積極的に、地域の人材活用を図ることができたか。	4	10	11	0	0	25	3.72	
		16%	40%	44%	0%	0%	100%		
不祥事	34	いかなる不祥事も起こさぬよう、日々注意を払って きたか。	2	19	5	0	0	26	3.88
			8%	73%	19%	0%	0%	100%	
35	不祥事根絶に向けた研修は、適切に行われていた か。	8	15	3	0	0	26	4.19	
		31%	58%	12%	0%	0%	100%		
その他	36	各教科の備品や教材教具が適正に配備され、活用さ れていたか。	3	6	16	1	0	26	3.42
			12%	23%	62%	4%	0%	100%	
37	部活動は、協力して効果的に取り組めたか。	1	10	10	4	0	25	3.32	
		4%	40%	40%	16%	0%	100%		

【考察】
評価
5…とてもそう思う（たいへん満足である）
4…そう思う（満足である）
3…ふつう
2…あまりそう思わない（少し不満である）
1…そう思わない（不満である）

職員が自己評価で5の評価をするのは、よほどの自信があるか、職場への満足感と言える。若手職員に5の評価が多かった。やはり希望や意欲を持って仕事に打ち込んでいるのだろう。

項目ごとに見ていくと、まず学校運営についてはほぼよいと言える。組織については、校務分掌（校務の役割分担）の分担や教職員の協力体制の数値がやや低いかなど感じる。特に校務分掌については、負担の大きなものが一部の若手に集中しているという意見が、自由記述にあった。体や頭が動く若いうちに、様々な仕事を覚えてもらいたいという思いがある。いつの時代もそれは同じで、若い先生方も年を取れば、同じように考えるはずである。No.10の数値が高いというのは、長崎小の大きな特色の一つと言える。モラルアップ委員会主催の親睦会では、ベテランと若手が和気藹々で活動しており、これが気軽に相談できる雰囲気を作り上げていると言える。

学習指導に関しては、視覚覚機器の利用が不十分であった。これは、機械の操作が不得手ということもあるが、コンピュータソフトの情報提供がたりなかったという反省もある。生徒指導については、No.17, 18, 19の指導にもう少し努力がほしい。特に挨拶については、年間を通して挨拶運動を行ってきているわけだから、普通という評価が半分以上を占めているのはいかがなものか。その反面、子ども同士の人間関係づくりには大半の職員が力を注いでいると言える。当然であるが好ましいことである。

研修に関しては、校内研修と外部の個人研修に分けられるが、我々に課せられた義務を果たしていると言える。普通というのは当たり前という評価であろう。

保護者地域に関して、No.32は忘れたり遅れたりすると、多忙な勤務を更に多忙化させてしまうことになる。

ここ数年、学校における課題の一つに不祥事防止がある。わいせつにセクハラ、個人情報漏洩、と新聞記事やテレビ報道は枚挙にいとまがない。No.5, 6は常に高い数値でなければならない。No.34, 35の結果は一応安心できるが、油断はしてはいけない。